

わくわくエブリスタディ・こくご 3

よみとり

3

「はなの ひながた」



※問題文は『わくわくエブリスタディ』
をご覧ください。



出典 ★ 横断幕制作「わくわくエブリスタディ」
理謙社刊 所収「わくわくエブリ」



- 2
- (1) おかあさんうさぎが
 いそいで
 にげ出す。
- (2) うさぎが
 林の
 中に
 にげる。
- (3) おかあさんうさぎが
 きつねの
 まえに
 とび出す。

足のわるい

- 1
- 上の文しようをよんで、
もんだいにこたえましょう。
- て、足をひきずつてためですか。
いるのはなんの文しようの中のこたえましょう。
- まねをして、

たするため。

あげてください。

- 2
- あまりなじみのない問題の形式ですでの、設問自体の意味がわかりにくい場合があるかもしれません。そのようない場合には、「上のお話と順番が同じになるように、この三つの文を並べ替えるんだよ。それで、その順番がわかるように、数字を書いていけばいいよ。」などと補足説明をしてあげてください。問題を解くことに不慣れな小学一年生の場合、見慣れない形式の問題に出会うと戸惑ってしまうことがあります。設問の意図を読み取ることも読解力の一部ですが、今の段階では支援をしてあげてかまいません。

今回の学習のねらい

- 場面の様子・登場人物の気持ちを読み取る。
- 事柄の順序を読み取る。

支援のポイント

- 1 主語が省略された文ですので、まずは主語がだれなのか（だれが足をひきずっているのか）を考えさせます。直前の文に着目すれば、「おかあさんうさぎ」が「足をひきずつて」きつねの前に「とび出し」たことがわかるでしょう。そのうえで、おかあさんうさぎについて書かれているところを、問題文から探していくように声をかけてあげてください。

- 2 あまりなじみのない問題の形式ですでの、設問自体の意味がわかりにくい場合があるかもしれません。そのようない場合には、「上のお話と順番が同じになるように、この三つの文を並べ替えるんだよ。それで、その順番がわかるように、数字を書いていけばいいよ。」などと補足説明をしてあげてください。問題を解くことに不慣れな小学一年生の場合、見慣れない形式の問題に出会うと戸惑ってしまうことがあります。設問の意図を読み取ることも読解力の一部ですが、今の段階では支援をしてあげてかまいません。
- 解問題に取り組みやすくなります。

ほめ方のポイント

- 1 この文章のポイントとなる設問です。できなかつた場合は、おかあさんうさぎの行動を順に確認させてください。そうすれば、何のために足をひきずっているのかを説明した最後の一文にたどりつけます。

- ただし、問題文では「うたすけたのです」と、単に事実を述べるだけの形になつてているのに対し、設問は理由を答える問題になつてている点で、小学一年生の子どもにとつてはやや難しい問題です。また、傍線部のすぐそばに答えに該当する箇所がない点や、傍線部だけを見ても主語がわからない点も、難しく感じることでしょう。
- ですから、できなかつた場合には、お子さまが何につまずいたのかを把握するようにしてください。そのうえで、お子さまのつまずきに応じた説明をしていただくとよいでしょう。

- 2 順序を正しくとらえることは、論理的思考の第一歩と言えます。この問題をまちがえてしまつた場合には、選択肢一つ一つについて、その内容が書かれている箇所を問題文から探し、印をつけるとよいでしょう。設問で問われていることが問題文のどこに書いてあるかを確認する習慣をつけると、読